決まり字特訓シート - 一字決まり（7首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
18	す	住の江の 岸に寄る波 よるさへや	
22	ふ	吹くからに 秋の草木の しをるれば	
57	め	めぐりあひて 見しやそれとも 分かぬ間に	
70	さ	さびしさに 宿を立ち出でて ながむれば	
77	せ	瀬を早み 岩にせかるる 滝川の	
81	ほ	ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば	
87	む	村雨の 露もまだひぬ まきの葉に	

決まり字特訓シート - 二字決まり（42首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
3	**あし**	あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の	
4	**たご**	田子の浦に うち出でて見れば 白妙の	
5	**おく**	奥山に 紅葉踏みわけ 鳴く鹿の	
6	**かさ**	かささぎの 渡せる橋に おく霜の	
10	**これ**	これやこの 行くも帰るも 別れては	
13	**つく**	筑波嶺の 峰より落つる みなの川	
14	**みち**	陸奥の しのぶもぢずり 誰ゆゑに	
16	**たち**	立ち別れ いなばの山の 峰に生ふる	
17	**ちは**	ちはやぶる 神代もきかず 竜田川	
20	**わび**	わびぬれば 今はた同じ 難波なる	
23	**つき**	月見れば 千々にものこそ 悲しけれ	
24	**この**	このたびは 幣も取りあへず 手向山	
26	**をぐ**	小倉山 峰の紅葉葉 心あらば	
33	**ひさ**	ひさかたの 光のどけき 春の日に	
34	**たれ**	誰をかも 知る人にせむ 高砂の	
36	**なつ**	夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを	
37	**しら**	白露に 風の吹きしく 秋の野は	
40	**しの**	しのぶれど 色に出でにけり わが恋は	
41	**こひ**	恋すてふ わが名はまだき 立ちにけり	
43	**あひ**	逢ひ見ての のちの心に くらぶれば	

44	**あふ**	逢ふことの 絶えてしなくは なかなかに	
46	**ゆら**	由良の門を 渡る舟人 かぢを絶え	
47	**やへ**	八重むぐら しげれる宿の さびしきに	
51	**かく**	かくとだに えやはいぶきの さしも草	
52	**あけ**	明けぬれば 暮るるものとは 知りながら	
55	**たき**	滝の音は 絶えて久しく なりぬれど	
59	**やす**	やすらはで 寝なましものを さ夜ふけて	
61	**いに**	いにしへの 奈良の都の 八重桜	
62	**よを**	夜をこめて 鳥のそらねは はかるとも	
65	**うら**	恨みわび ほさぬ袖だに あるものを	
66	**もろ**	もろともに あはれと思へ 山桜	
71	**ゆふ**	夕されば 門田の稲葉 おとづれて	
72	**おと**	音にきく たかしの浜の あだ波は	
73	**たか**	高砂の 尾の上の桜 咲きにけり	
74	**うか**	憂かりける 人を初瀬の 山おろしよ	
82	**おも**	思ひわび さても命は あるものを	
85	**よも**	夜もすがら もの思ふころは 明けやらで	
89	**たま**	玉の緒よ 絶えなば絶えね ながらへば	
90	**みせ**	見せばやな 雄島のあまの 袖だにも	
91	**きり**	きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしろに	
94	**みよ**	み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて	
97	**こぬ**	来ぬ人を まつほの浦の 夕なぎに	
100	**もも**	百敷や 古き軒端の しのぶにも	

決まり字特訓シート - 三字決まり（37首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
1	**あきの**	秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ	
2	**はるす**	春すぎて 夏来にけらし 白妙の	
7	**あまの**	天の原 ふりさけ見れば 春日なる	
8	**わがい**	わが庵は 都のたつみ しかぞすむ	
9	**はなの**	花の色は うつりにけりな いたづらに	
12	**あまつ**	天つ風 雲の通ひ路 吹きとぢよ	
21	**いまこ**	今来むと いひしばかりに 長月の	
25	**なにし**	名にし負はば 逢坂山の さねかづら	
27	**みかの**	みかの原 わきて流るる いづみ川	
28	**やまざ**	山里は 冬ぞさびしさ まさりける	
30	**ありあ**	有明の つれなく見えし 別れより	
32	**やまが**	山川に 風のかけたる しがらみは	
35	**ひとは**	人はいさ 心も知らず ふるさとは	
38	**わすら**	忘らるる 身をば思はず 誓ひてし	
39	**あさぢ**	浅茅生の 小野の篠原 しのぶれど	
45	**あはれ**	あはれとも いふべき人は 思ほえで	
48	**かぜを**	風をいたみ 岩うつ波の おのれのみ	
49	**みかき**	御垣守 衛士のたく火の 夜は燃え	
53	**なげき**	嘆きつつ ひとり寝る夜の 明くる間は	
54	**わすれ**	忘れじの 行末までは かたければ	

56	**あらざ**	あらざらむ この世のほかの 思ひ出に	
58	**ありま**	有馬山 猪名の笹原 風吹けば	
60	**おほえ**	大江山 いく野の道の 遠ければ	
63	**いまは**	今はただ 思ひ絶えなむ とばかりを	
67	**はるの**	春の夜の 夢ばかりなる 手枕に	
69	**あらし**	嵐吹く 三室の山の もみぢ葉は	
78	**あはじ**	淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声に	
79	**あきか**	秋風に たなびく雲の 絶え間より	
80	**ながか**	長からむ 心も知らず 黒髪の	
84	**ながら**	ながらへば またこのごろや しのばれむ	
86	**なげけ**	嘆けとて 月やはものを 思はする	
92	**わがそ**	わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の	
95	**おほけ**	おほけなく うき世の民に おほふかな	
96	**はなさ**	花さそふ 嵐の庭の 雪ならで	
98	**かぜそ**	風そよぐ ならの小川の 夕暮れは	
99	**ひとも**	人もをし 人も恨めし あぢきなく	

決まり字特訓シート - 四字決まり（6首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
19	**なにはが**	難波潟 短き芦の ふしの間も	
29	**こころあ**	心あてに 折らばや折らむ 初霜の	
42	**ちぎりき**	契りきな かたみに袖を しぼりつつ	
68	**こころに**	心にも あらでうき世に ながらへば	
75	**ちぎりお**	契りおきし させもが露を 命にて	
88	**なにはえ**	難波江の 芦のかりねの ひとよゆゑ	

決まり字特訓シート - 五字決まり（2首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
83	**よのなかよ**	世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る	
93	**よのなかは**	世の中は 常にもがもな 渚こぐ	

決まり字特訓シート - 六字決まり（6首）

決まり字を見て下の句を書きましょう

番	決まり字	上の句	下の句（書いてみよう）
11	**わたのはらや**	わたの原 八十島かけて 漕ぎ出でぬと	
15	**きみがためは**	君がため 春の野に出でて 若菜つむ	
31	**あさぼらけあ**	朝ぼらけ 有明の月と 見るまでに	
50	**きみがためを**	君がため 惜しからざりし 命さへ	
64	**あさぼらけう**	朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに	
76	**わたのはらこ**	わたの原 漕ぎ出でて見れば 久方の	